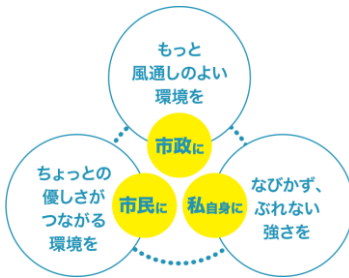


# 今と未来に向き合う政治をともに！ HISAKA'S Style

- Style 1** 公平公正な姿勢！  
市民全体に向けた活動を心がけ、**個人後援会はつきりません。**
- Style 2** 政策づくりが議員の仕事！  
議員としての**専門性を磨き、市民の自治力の向上をバックアップ**します。
- Style 3** 話し合いが大切！  
意見の違いは粘り強く議論をつづけることで、「第3の道」を見つめる**努力**をします。



## HISAKA'S DIARY



多摩中央警察署武道始式。オリンピック金メダリストの松本薫さんがスペシャルゲストに！石川良一都議、北浜けんいち稲城市議長と記念撮影。



平成時代最後の成人式。パルテノン多摩大ホールが閉鎖されているので多摩情報教育センターホールにて。議長挨拶。



京王自動車労働組合桜ヶ丘支部の旗開き。市長とともに鏡割り。創立70周年というおめでたい席にお招きいただきました。

### HISAKA'S Profile

1977年 兵庫県神戸市生まれ／4歳から3年間は札幌に暮らす  
 1985年 多摩市諏訪（当時は連光寺）に転入  
 1989年 北諏訪小学校卒業  
 1992年 桐朋女子中学校卒業  
 1995年 桐朋女子高等学校（普通科）卒業  
 1999年 中央大学法学部政治学科卒業  
 大学卒業後2002年まで中小企業金融公庫（今の日本政策金融公庫）勤務。  
 2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙にて25歳で当選して活動開始。  
 2004年 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科入学  
 2006年 公共政策学修士（同大学院修了）  
 2017年 多摩市議会第31代議長就任  
 2019年現在 議員歴5期17年目 子ども教育常任委員会所属 多摩市諏訪2丁目在住



## 市議会レポートほうれんそう 岩永ひさかへのご相談は…

ご用件と希望する連絡先を留守番電話へ！必ず折り返します。

TEL **042-371-0763** 留守番電話専用

## 市議会レポート

# 岩永ひさかのほうれんそう

文章: 岩永ひさか(多摩市議会議員/所属党派: 改革みらい)  
 多摩市諏訪2-2 B410 プリリア多摩ニュータウン  
 TEL/FAX 042-371-0763

ブログ更新中!!  
 ご意見も随時  
 募集しております!



<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

■慌ただしく1ヵ月が過ぎ、3月の議会に向けた準備が始まっています。「議長」として臨む最後の議会です。この議長任期2年という間、たくさんの人に支えていただき、助けていただきました。

3月の議会。支えてくれた議員の皆さん、局長をはじめとする議会事務局の職員の皆さん、そして、多摩市議会をいつも温かく見守ってくださり、応援して下さいているたくさんの市民のみなさんに感謝をしながら、役目を果たしたいと思っています。

■忙しいことはありがたいこと。とはいえ、「議長公務優先」となり、地域などで一緒に活動し、時間を共有してきたみなさんとの関わりが薄くならざるをえないというのか…自分のなかでの葛藤でした。申し訳ないなあ…という自分の気持ちの中で折り合いをつけていくのが、ちよっぴり大変でした。でも、「ベストを尽くす！」ということで、駆け抜けてきたかな…?

3月議事を前にして、さらに日々、感謝の気持ちを忘れずに。

平成31年2月 早春吉日

岩永ひさか

## 東京都防災・アプリ

「あそぶ・まなぶ・つかう」ということで、娘と一緒に防災学習をするために昨年3月にリリースされた「東京都防災アプリ」をダウンロード。

なんと、とても楽しく活用でき、特にあなたのまちの「地震危険度」を調べてみるとちょっと参考になりそう。ちなみに、私が住んでいる**諏訪2丁目**は…

建物倒壊危険度 5029/5177位

火災危険度 5028/5177位

総合危険度 **4600/5177位**という結果でした！

ぜひ、おためしください！



## 物申す！…学校体育館にエアコン設置の**有効性の検証**が必要！ 見切り発車で、税金の無駄遣いにならないようにすべき！

### ■猛暑対策は最重要課題！

昨年夏の異常な暑さ…しかし、その暑さも‘異常’ではなく、これからは‘当然’となるのかも知れません。自然環境の変化がもたらす気候の変動は日本人が大切にしてきた‘風光明媚’な風土に育まれた文化をも奪い去ってしまうかもしれない…という恐怖さえ覚えます。

その中にあり、学校の暑さ対策は喫緊の課題。子どもたちは授業に集中ができない、もちろん炎天下での体育はできない、体育館の中は蒸し風呂、サウナのような状態、大好きな休み時間も外で遊ぶことが厳しい、部活をやると熱中症になってしまう、あるいは登下校時心配…。**真夏に子どもたちが置かれている状況も一昔前とは大きく異なり過酷**です。

多摩市では、何とか小中学校の普通教室と特別教室も一部にはエアコンを設置していますが、学校全体がエアコン完備の快適環境というわけではありません。ましてや体育館までには行き届かず…という状態であり、特に、夏休み中、中学生のスポーツ系の部活動などでは熱中症になる生徒も相次ぎ、大会

などに向けた練習がままならない状況にも追い込まれる事態でした。

こうした状況に対し、市議会でも小中学校の環境改善、猛暑対策が指摘され、国や東京都に助成（いわゆる補助金）を求めべき等の意見が出されてきました。

### ■確かに方向性は示されたが・・・

東京都は昨年12月末、学校体育館のエアコン設置に対する助成を進めるための予算を決定し、それを受けて、各市町村が必要に応じて取り組んでいくこととなりました。

そこで、多摩市では全中学校の体育館にエアコンを設置する方針を決めたようです。

しかし、ここからが問題！なぜなら、**多摩市の学校体育館**はRC構造、いわゆる鉄筋コンクリートではなく、鉄骨造り。つまり、**断熱構造になっていないため、ちょっとやそとのエアコン設置では、どうやらその効果が発揮されない恐れ**が大きく、せっかく設置したのはいいけれど…果たして、猛暑がどの程度解消されるのか？まさか、全く効果が発揮されないのでは？ということも想像に難くないのです。

### 議会活動の強化に向けて！

三階みちお副議長と一緒に、市内にある大学と私の母校である中央大学を訪問。  
「**多摩市議会と大学との連携**」を模索中。



市教育委員会によれば、エアコンで体育館をどのくらい冷やすのかと言えば、「運動できる程度くらい」というスタンス。それは「涼しくする」というよりも、説明時の言葉を借りれば、「**昔の我々が、多少暑くても運動ができていた程度に冷やせればよい**」というものでした。現段階の計画は「その程度に冷やせる能力でのエアコン設置」となっているのでしょうか？

### ■断熱効果の高い体育館にすることが先決

今回、市は都の予算を急いで確保し、まずはモデル的に多摩永山中学校体育館に夏が終わるまでにはエアコンを設置し、その効果を検証するとしています。そのために、**市長は専決処分**（本来、議会議決または決定すべき事項について、緊急性を要するという理由で、議会を開くことなく市長権限で決定して処理をする）を行いました。「**モデル的設置**」を行い、検証結果によっては、**その先の対応が変わる可能性もある**との説明ですが、**議会で議論をせず、専決処分**までして急ぐ必要があるのかどうか、やや見切り発車になっているのではないかと心配です。他市は慎重に取り組んでいく気配です。



### 多摩市議会の取り組みをPR！

東村山市議会の議会報告会で、多摩市の取り組みを紹介させていただきました！

多摩市議会には、**政党や会派の壁を乗り越えて**「市民のための議論を！」と議員全員が心がけていること等、伝えてまいりました。

先に書いた通り、「多少暑くても運動ができていた程度に冷やす」能力とはいかに？というのがあります。そもそも断熱構造になっていない学校体育館の構造が大きな懸念事項なのです。設置はしたけれど「**電気代がかなりさがるので、使用は控えましょう**」では困ります。

### ■想定しておくべきは災害時。避難所の快適性という観点では？

ところで、もう一つ、重要といえるのが、学校体育館は災害時の避難所になるということです。真夏や真冬に発災することを想像すれば、避難所として使用される体育館での生活はおそらく過酷なものとなるでしょう。**今後は「災害時」を見込む必要**があるのです。しかし、先にも書いた通り、現状想定されているのは「暑くても運動はできる程度」にしかならないようです。

「学校体育館にエアコン設置される！」と喜ぶも一瞬、実は課題も多いということも市民のみなさんと共有しつつ、よりよい環境整備に向け、**大事な税金は賢く使いたい**ですね。どうぞご意見お寄せください。

